

## 平成28年度 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 財務諸表の概要

## 1 財務諸表の概要

## (1)貸借対照表

平成29年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	119.5 億円	固定負債	79.5 億円
土地	13.4 億円	流動負債	27.7 億円
建物	88.7 億円		
流動資産	115.8 億円		
現金及び預金	85.5 億円		
		【純資産の部】	
		資本金	72.5 億円
		資本剰余金	33.9 億円
		利益剰余金	21.7 億円
計	235.3 億円	計	235.3 億円

## (2)損益計算書

平成28年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純利益を表示

収益総額	173.7 億円
営業収益	172.8 億円
営業外収益	0.9 億円
臨時利益	0.1 億円
費用総額	172.7 億円
営業費用	165.9 億円
営業外費用	6.5 億円
臨時損失	0.3 億円
当期純利益	1.0 億円
当期総利益	1.0 億円

\*当期の総利益は、積立金として処分する。

## (3)キャッシュ・フロー計算書

平成28年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	14.1 億円
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲8.5 億円
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2.4 億円
IV 資金増加額	3.3 億円
V 資金期首残高	22.2 億円
VI 資金期末残高	25.5 億円

## (4)行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	9.4 億円
(1)損益計算書上の費用	172.7 億円
(2)自己収入等(控除)	▲163.3 億円
II 機会費用	0 円
III 行政サービス実施コスト	9.4 億円

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

## 2 収支の状況

### (1) 収支概要

平成28年度純利益……103,492千円 →▲32,005千円(対前年度差額)  
 (平成27年度純利益……135,497千円)

・収益については、入院診療単価及び入院患者数の増加により医業収益が増加したため、2.4億円(前年度比1.4%)の増収となった。  
 ・費用については、職員数の増加による給与費の増、高額医薬品等による医薬品費の増により2.8億円(前年度比1.6%)の増加となったが、収支差は、1.0億円と独法化後7期連続の黒字となった。

### (2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H27年度	H28年度	H28-H27	対前年度比	参 考
収益	171.3	173.7	2.4	1.4%	診療単価 (H27) (H28)
営業収益	169.6	172.8	3.2	1.9%	入院 63,511円 → 65,152円
うち入院収益	109.2	112.4	3.2	3.0%	外来 15,963円 → 16,990円
うち外来収益	46.2	46.2	0.0	0.0%	
うち運営費負担金	9.5	9.4	▲0.1	▲1.2%	患者数 (H27) (H28)
営業外収益	1.0	0.9	▲0.1	▲12.3%	入院 171,656人→172,398人
うち運営費負担金	0.6	0.5	▲0.1	▲12.8%	外来 289,353人→271,941人
臨時利益	0.7	0.1	▲0.6	▲89.8%	
費用	169.9	172.7	2.8	1.6%	一般病床利用率 (H27) (H28)
営業費用	163.0	165.9	2.9	1.8%	78.6% - 82.5%
うち給与費	82.1	84.2	2.0	2.5%	
うち材料費	41.5	42.9	1.5	3.5%	
うち経費	25.9	25.5	▲0.5	▲1.9%	
うち減価償却費	13.0	12.8	▲0.1	▲0.9%	
営業外費用	6.8	6.5	▲0.3	▲4.3%	
うち支払利息	0.9	0.8	▲0.1	▲11.7%	
うち控除対象外消費税	5.9	5.7	▲0.2	▲2.9%	
臨時損失	0.1	0.3	0.2	-	
収支差	1.4	1.0	▲0.3	-	

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

### (3) 前年度比収支変動の主な要因

#### ア 営業収益

うち入院収益 (3.2億円増) 診療単価・患者数の増加によるもの

#### イ 営業費用

うち給与費 (2.0億円増) 職員の増加によるもの  
 うち材料費 (1.5億円増) 高額医薬品等の薬品費の増加によるもの  
 うち経費 (0.5億円減) 光熱水費及び燃料費の削減によるもの